

## 新しくなった「Scrum」を御活用ください!

東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課長 伊東 哲

暦の上では二十四節気の処暑が過ぎ、猛暑の中にも朝夕の空気にどことなく涼しさを感じるようになりました。各学校では、2学期あるいは後期からの授業等の準備でお忙しいことと思います。

さて、今月号の「Scrum」から、新たに理数教育、道徳教育、特別支援教育に関わる内容を盛り込み、内容を一層充実したものにしております。授業改善や学習指導に関わる先進情報を発信することが「Scrum」の使命です。今後も各学校の先生方のお役に立てる情報を積極的に提供しますので、ぜひ、御活用ください。

平成24年度における教育活動はこれからが充実期を迎えます。子供たちの状況等を的確に捉え、一人一人の学習の状況に寄り添った指導方法や指導体制を確立し、充実した学習指導が展開されることを期待しています。

### 《 目 次 》

- **平成24年度『児童・生徒の学力向上を図るための調査』**  
**「結果の分析」から「授業の改善」へ 第2回 . . . . . 2**
  - 1 「調査問題作成の意図」と「学校での活用」
  - 2 出題の意図＝どのような背景・課題から出題されたのか
  - 3 問題分析＝どのような授業提案なのか、どこで・どのように学習につまずくのか
  - 4 調査問題活用のポイント＝問題をどのように活用して、授業を展開すればよいのか
  - 5 調査結果に基づいた授業改善のPDCAサイクルの確立
- **児童・生徒への講話などの話題に使える**  
**「科学トピック」 第1回 . . . . . 7**
- **「東京の子供たちの豊かな心を育む」 第1回**  
**～道徳教育の充実に向けて～ . . . . . 8**
- **「特別支援教育の窓」 第1回**  
**－全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して－ . . . . . 9**

# 平成24年度『児童・生徒の学力向上を図るための調査』 「結果の分析」から「授業の改善」へ 第2回

7月5日(木)に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」について、7月24日(火)、7月27日(金)に、調査問題等説明会を開催しました。本調査が各学校における授業改善、そして児童・生徒の学力向上へと結び付けていくことを願っています。

本号ではまず、調査問題等説明会の内容の概略を御紹介します。

## 1 「調査問題作成の意図」と「学校での活用」

### 調査問題作成の意図

#### 経年比較型の問題

⇒ 主旨の同じ問題を毎年出題して、長期にわたって学習のつまずき等の傾向をみます。

#### 授業提案型の問題

⇒ 授業場면을想定した出題形式で、調査問題を生かした授業実践の提案をしていきます。

#### 課題分析型の問題

⇒ 誤答分析等から、児童・生徒の学習のつまずきがどこにあるのかを明らかにしていきます。

### 学校での活用

#### 【迅速な対応】

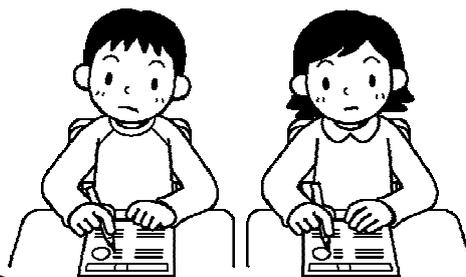
児童・生徒一人一人に、どこで学習がつまずいているのかを捉えさせ、つまずきに応じた復習等を指導する。

#### 【中・長期的な対応】

児童・生徒一人一人の学習のつまずきを把握し、指導内容・指導方法を見直す。

#### 【組織的な対応】

結果分析に基づいて学校全体で授業改善のためのPDCAサイクルを確立する。



## 2 出題の意図=どのような背景・課題から出題されたのか

### 【中学校国語科の例】

昨年度の  
調査結果

会話の結論を聞き取る能力  
正答率 48.3%

出題の  
意図

目的に応じて、必要な情報を、  
メモを取りながら整理して聞き取る力を問う。

設問

【場面】 校外学習についての学年集会で、実行委員長が3つの変更点について生徒に連絡しています。

【取組】 3つの変更点を、メモを取りながら整理して聞き取りましょう。

1 話す・聞く能力をみる問題

調査問題  
活用のポイント

メモの例

<校外学習 変更点>

1 集合 場所 南門前広場 → 大江戸中  
時刻 9時 → 8時30分

2 館内の撮影 → 禁止  
班ごとのカメラなし

3 写生 庭園 → 館内  
持ち物 変更なし  
(2B~4B3本 消しゴム スケッチブック)

工事

どこに?

フラッシュ  
作品いたむ

個人でカメラ ダメ?

庭園の作品は?

(授業での発問例)

- 実行委員長の話を聞きながら、
- 変更点はいくつあったのか。
  - 「何が」「どのように」変更になったのか。
  - 「どうして」変更になったのか。
  - 何か「疑問」に思ったことなどはないか。
- などを、メモにまとめてみましょう。



### 3 問題分析=どのような授業提案なのか、どこで・どのように学習につまずくのか

#### 【小学校社会科の例】

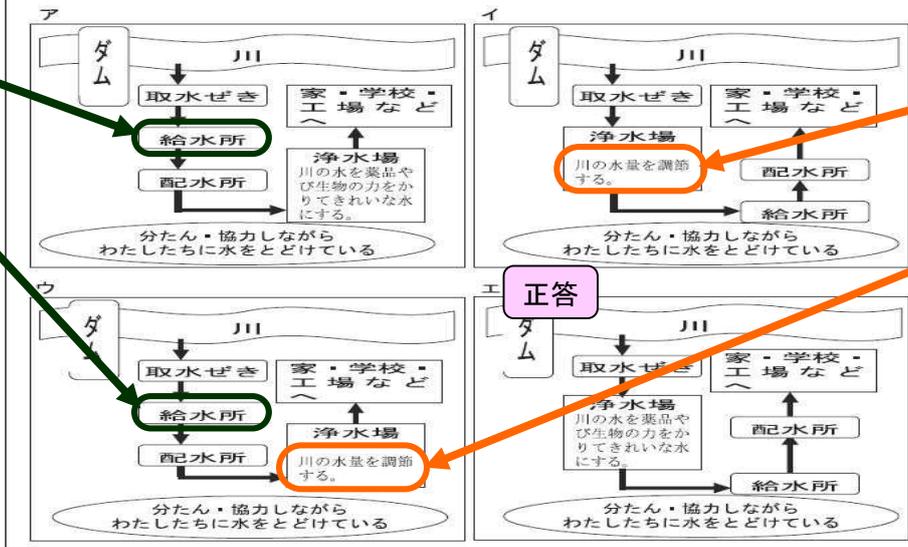
##### 調査問題

(2) あやさんは、水道水がどこからどのようにとどくのかを調べ、次のような〈メモ〉をつくりました。〈メモ〉をもとにまとめた図として、最もふさわしいものを下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

〈メモ〉

- 川の水をダムでためたり流したりして、川の水量を調節している。
- 川の水は取水ぜきで取り入れられ、浄水場へ送られる。
- 浄水場では、薬品や生物の力をかりて、川の水をきれいにする。
- 浄水場できれいにされた水は、給水所・配水所を通して、家や学校や工場などにとどけられる。
- ダムや浄水場などの施設では、たくさんの人たちが分たん・協力して働いているので、わたしたちはいつでもきれいな水を使うことができる。

水が届けられる経路を捉えることにつまずきが見られる。



浄水場の役割を捉えることにつまずきが見られる。

##### 設問

【場面】 あやさんは、水道水がどこからどのようにとどくのか調べました。

【取組】 調べた〈メモ〉をもとに図にまとめてみましょう。

##### (授業での発問例)



調べて分かったことを、図にまとめてみよう。  
水道水がとどくまでにどのような道を通ってくるのか、順序や施設の役割等に注目しながら、分かりやすくまとめてみましょう。

図にまとめることで内容が整理され、理解が深まります。また、「分かったこと」や「考えたこと」を表現させることで、「思考・判断・表現」の評価をし、その結果を指導に生かしていくことが大切です。

#### 4 調査問題活用のポイント＝問題をどのように活用して、授業を展開すればよいのか

##### 【中学校理科の例】

##### 設問

【場面】 校庭の植物を観察して記録をとり、その記録をもとにそれぞれの植物について調べます。

【取組】 植物のつくりの特徴を捉えて分類してみましょう。

2 菜穂子さんは、春に校庭で見られる植物の観察を行い、校庭で見つけた植物A～Fについてノートに記録をしました。菜穂子さんはこの記録をもとに、A～Fの植物を調べ、まとめました。あとの(1)と(2)の問題に答えなさい。

##### 調査問題

<表>

	A	B
写真		
花の色	黄色	むらさき色
花のつくりや花弁の特徴	たくさんの花がまとまっている。花弁が、一つにつながっている。	花弁が、元のほうで一つにつながっている。
葉の形	細長くてぎざぎざした形	だ円の形
葉脈の並び方	網状	網状

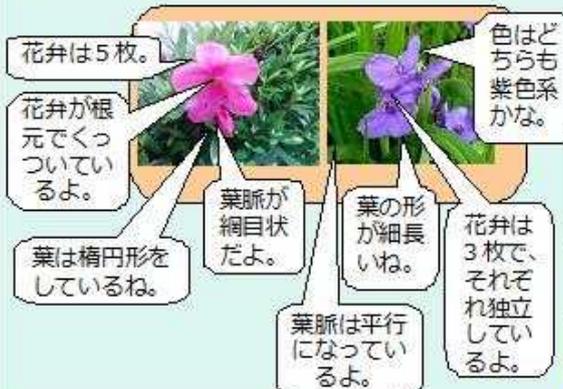
(1) 表のA～Fの植物を<図1>の条件で分類したところ「E、F」に分類できました。Dを<図2>の条件で分類したところ「C、D」のグループに分類。菜穂子さんが分類した条件で最も適切なものを、次のA～Fそれぞれ1つずつ選び、記号で

### 中学校第2学年 理科

2(1) 花・葉・茎のつくりとその特徴を捉え、条件に基づいて分類することができる。 【観察・実験の技能】

#### 調査問題(教材)活用のポイント

次の2つの花の特徴について調べて、整理してみよう。



	ツツジ	ツクシ
花の色	黄色	紫色
花弁が、元のほうで一つにつながっている	5枚の花弁がそれぞれつながっている	3枚の花弁がそれぞれ独立している
だ円の形	細長くてぎざぎざした形	楕円形
葉脈の並び方	網状	平行

発言を同じ項目ごとに整理して、その分類名を考えさせる。

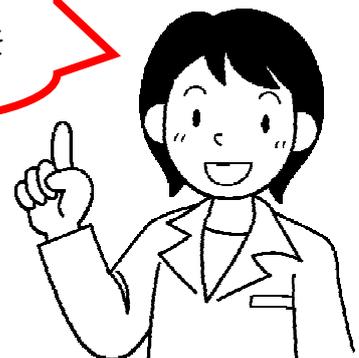
##### (授業での発問例)

この2つの花は、どちらも校庭に咲いていたものです。共通点や相違点を見つけてみましょう。

花の色は？ 花弁の特徴は？ 葉の形は？ 葉脈の並び方は？ 気付いたことを、表に整理してみましょう。

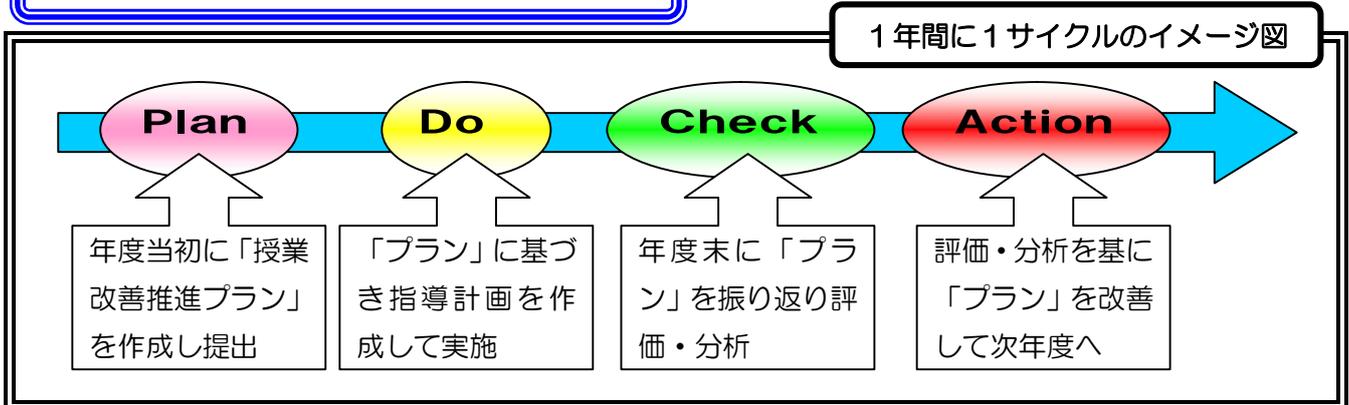
表に整理した内容を基に、単子葉類と双子葉類の特徴をノートにまとめてみましょう。

比較する際の視点、共通点や相違点の整理の仕方、調べたことのまとめ方などを学ぶことができるよう指導していくことが大切です。



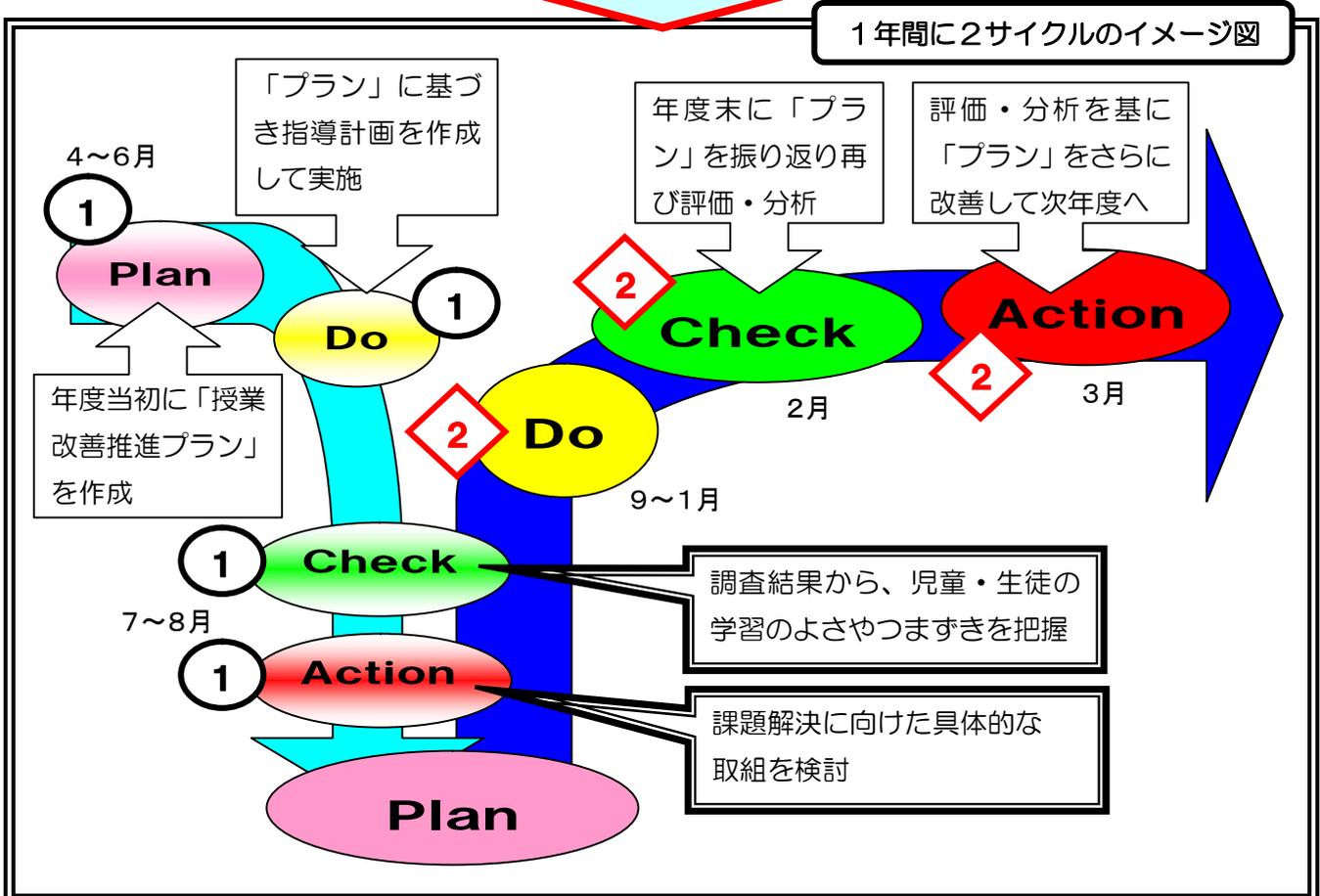
## 5 調査結果に基づいた授業改善のPDCAサイクルの確立

### これまでの「授業改善推進プラン」の流れ



### これからの「授業改善推進プラン」の流れ（調査結果に基づいた「授業改善推進プラン」の改善）

- 国や都の調査に基づいて、Check（評価・分析）を年度内に複数回行い、「プラン」を改善していくことで、より効果的に指導を行うことができます。
- 児童・生徒の課題について、いつ・どこで・何を・どのように指導するかを明確にして、「プラン」の中に位置付け、実践することが大切です。
- 学校全体で組織的に授業改善を推進していくことが必要です。



## 児童・生徒への講話などの話題に使える「科学トピック」 第1回

本号から、「児童・生徒への講話などの話題に使える『科学トピック』」の連載を開始します。日頃から児童・生徒に科学的な分野に対する興味・関心をもたせ、学習への意欲につなげていくことができるよう、是非御活用ください。

### 国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機 打上げ成功！

宇宙空間という特別な環境を利用して、地球・天体の観測や、宇宙での実験・研究などを行う国際宇宙ステーション計画に、我が国日本も参加しています。

国際宇宙ステーションでは、平成21年から宇宙飛行士による長期滞在が行われており、宇宙飛行士の食糧や衣類、各種実験装置などを補給する輸送業務が不可欠になっています。日本も、この輸送業務を「こうのとり」を用いています。

「こうのとり」は、H-II Bロケットにより打ち上げられる無人の宇宙船であり、平成24年7月21日に3号機が種子島宇宙センターから打ち上げられました。

その後、「こうのとり」3号機は、国際宇宙ステーションに向けて接近し、7月28日に国際宇宙ステーションとの結合を完了しました。この結合作業には、日本の星出宇宙飛行士も携わりました。

結合に引き続き、物資の移送・廃棄品の積み込みが行われており、9月には国際宇宙ステーションからの離脱、大気圏への再突入が行われる予定です。大気圏の再突入時に、「こうのとり」3号機は、データ収集のための装置を除いて、燃焼廃棄されます。

「こうのとり」は、人工衛星、ロケット、宇宙ステーションの技術を統合した我が国初めての有人施設対応の輸送機（宇宙船）であり、現在、宇宙ステーションの維持に不可欠な補給手段となっています。この打上げ成功によって、宇宙ステーションの運用を担う一員としての我が国の地位は、向上しています。今後、「こうのとり」を年に1機程度、定常的に打上げを実施することで、さらに宇宙開発技術が発展していくものと期待されます。



「こうのとり」3号機の打上げ <提供> JAXA



「こうのとり」3号機が国際宇宙ステーションに取り付けられる様子 <提供> JAXA/NASA



# 「特別支援教育の窓」 第1回

－全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して－

本号から、「特別支援教育に関するコラム」の連載を開始します。今後、全ての学校で特別支援教育を進めていくためのヒントになるような話題を提供していきます。

第1回は、個別指導計画・個別の教育支援計画について紹介します。

小学校、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）及び高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）では、総則 第4（高等学校は第5款）「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」において、障害のある児童・生徒について、次のように明記されています。

特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、例えば**指導についての計画**又は**家庭や医療、福祉等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画**を個別に作成することなどにより、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。

ここに示されている、**指導についての計画**とは、個別指導計画のことであり、**家庭や医療、福祉等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画**とは、個別の教育支援計画のことになります。

しかしながら、「個別指導計画と個別の教育支援計画との関係が分からない」「個別の教育支援計画は作成が難しい」などという質問をよく受けます。

そこで今回は、「個別指導計画と個別の教育支援計画とは何か」について整理してみました。

## 個別の教育支援計画は、指導・支援の方向の長期計画（青写真）

個別の教育支援計画は、学校が、支援が必要な児童・生徒に対して、「これから、どのような方向に指導・支援をしていくのか？」について、保護者（本人）とともに、定めていく計画になります。

個別の教育支援計画を作成するために、①保護者・本人の希望や願い、ニーズを受け止め、②学校では、どのように支援していくか、③どのような関係機関があり、どのように連携していくか、という内容を整理し、大まかな方向性を示していきます。

## 個別指導計画は、学校における一人一人の児童・生徒の支援・指導の計画

個別指導計画は、個別の教育支援計画の大きな方向性に基づき、授業や様々な教育活動における指導目標や具体的な手だてについて定める計画です。

例えて言うと、学校全体の教育計画として「教育課程」があり、それに基づいて、各学級の指導計画（国語の年間指導計画、道徳や総合的な学習の時間の指導計画など）があるように、個別の教育支援計画があつて、それを具体化するものとして個別指導計画があると考えてみてください。

**ホット・ニュース！ 平成24年3月発行の特別支援教育に関する各種リーフレットを、東京都教育委員会のホームページに掲載しました！！**

- ・ 「個別の教育支援計画」による支援の実際 - さらに推進する特別支援教育 -
- ・ 発達障害等への理解と支援～課題に気づき、支援につなげる～
- ・ 東京都立知的障害特別支援学校中学部自閉症学級指導書「社会性の学習」
- ・ 「学習習得状況把握表」を活用した指導の手引～小学部編～

★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを送信してください。なお、本メール・マガジンは、pdfファイルにて提供いたしますので、携帯電話では読むことができません場合があります。